

【古典文法 助動詞「る・らる」識別①】

問、次の文中にある傍線部の助動詞の意味を答えなさい。

- ① 物に襲はるる心地して、驚おどろき給へれば、火も消えにけり。(源氏物語)
- ② 帝、なほめでたく思し召さるる事せき止めがたし。(竹取物語)
- ③ 知らぬ人の中にうち臥ふして、つゆまどろまれず (更級日記)
- ④ 変りゆくかたちありさま、目も当てられぬこと多かり。(方丈記)
- ⑤ 今日は都のみぞ思ひやらるる。(土佐日記)
- ⑥ 堀川殿にて、舍人が寝たる足を狐に食はる。(徒然草)
- ⑦ いみじく思い嘆かるれど、いかがわせむ (更級日記)
- ⑧ 繕ふべき所、所の預かり、今加へたる家司などに仰せらる。(源氏物語)
- ⑨ 夜一夜、寝も寝られず、悲しうおぼえければ、かく詠みたりける。(大和物語)
- ⑩ 京に歌合ありけるに、小式部内侍、歌よみにとられて、よみけるを、(十訓抄)
- ⑪ 春日野の若むらさきのすりごろもしのぶの乱れ限り知られずとなむおひつきて言ひやりける。(伊勢物語)
- ⑫ いと恥づかしげなるに、わが朝顔の思ひ知らるれば、(紫式部日記)
- ⑬ 簾かけ、幕などひきたり。南ははるかに野の方見やらる。(更級日記)
- ⑭ 主従五騎にぞなりける。五騎がうちまで巴は討たれざりけり。(平家物語)
- ⑮ この御社の獅子の立てられやう、さだめてならひあることに侍らん。(徒然草)

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑪	⑫	⑬	⑭	⑮

【古典文法 助動詞「る・らる」識別①】 解答

問、次の文中にある傍線部の助動詞の意味を答えなさい。

- ① 物に襲はるる心地して、驚おどろき給へれば、火も消えにけり。(源氏物語)  
 …「る」と前に書かれていた場合は「**受身**」の可能性が高い。
- ② 帝、なほめでたく思し召さるる事せき止めがたし。(竹取物語)  
 …主語が「帝」で位が高く敬意を払う対象なので「**尊敬**」だと判断できる。
- ③ 知らぬ人の中にうち臥ふして、つゆまどろまれず。(更級日記)  
 …下に打消しの語があるため、「**可能**」(不可能)だとわかる。
- ④ 変りゆくかたちありさま、目も当てられぬこと多かり。(方丈記)  
 …下に打消しの語があるため、「**可能**」(不可能)だとわかる。
- ⑤ 今日(けふ)は都のみぞ思ひやらるる。(土佐日記)  
 …思ふ・ながむ・泣くなどの自発動詞の下にある場合は「**自発**」の可能性が高い。
- ⑥ 堀川殿にて、舍人が寝たる足を狐に食はる。(徒然草)  
 …「る」と前に書いてあり、狐に噛まれたという内容になるため「**受身**」。
- ⑦ いみじく思ひ嘆かるれど、いかがわせむ (更級日記)  
 …思ふ・ながむ・泣くなどの自発動詞の下にある場合は「**自発**」の可能性が高い。
- ⑧ 繕ふべき所、所の預かり、今加へたる家司などに仰せらる。(源氏物語)  
 …「仰せる」で「おっしゃる」という意味になるため「**尊敬**」だと判断することができる。
- ⑨ 夜一夜、寝も寝られず、悲しうおぼえければ、かく詠みたりける。(大和物語)  
 …下に打消しの語があるため、「**可能**」(不可能)だとわかる。
- ⑩ 京に歌合ありけるに、小式部内侍、歌よみにとられて、よみけるを、(十訓抄)  
 …「小式部内侍が、歌人として選ばれて」と訳すため「**受身**」だとわかる。
- ⑪ 春日野の若むらさきのすりごろもしのぶの乱れ限り知られずとなむおひつきて言ひやりける。(伊勢物語)  
 …下に打消しの語があるため、「**可能**」(不可能)だとわかる。
- ⑫ いと恥づかしげなるに、わが朝顔の思ひ知らるれば、(紫式部日記)  
 …思ふ・ながむ・泣くなどの自発動詞の下にある場合は「**自発**」の可能性が高い。
- ⑬ 簾かけ、幕などひきたり。南ははるかに野の方見やらる。(更級日記)  
 …思ふ・ながむ・泣くなどの自発動詞の下にある場合は「**自発**」の可能性が高い。
- ⑭ 主従五騎にぞなりける。五騎がうちまで巴は討たれざりけり。(平家物語)  
 …「る」はないが、「巴は討たれなかった」と訳すため「**受身**」だと判断できる。
- ⑮ この御社の獅子の立てられやう、さだめてならひあることに侍らん。(徒然草)  
 …「御社の獅子」は敬意の対象になるため、「**尊敬**」だと判断することができる。

① 受身	② 尊敬	③ 可能	④ 可能	⑤ 自発
⑥ 受身	⑦ 自発	⑧ 尊敬	⑨ 可能	⑩ 受身
⑪ 可能	⑫ 自発	⑬ 自発	⑭ 受身	⑮ 尊敬